HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館年報
Issue Date	2022-07
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/86385
Type	journal
File Information	nenpo2022.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北海道大学

附属図書館年報 2022

Hokkaido University Library
Annual Report

Contents

館長巻頭言 …… 1
令和３年度 Topics
1. 教育学習支援 …… 2
2. 研究支援 …… 6
3. 社会貢献と国際化 …… 10
4. その他 …… 15
5. 新型コロナウイルス感染症への対応 …… 18
連携事業 …… 19
ガイダンス・講習会 …… 20
活動日誌 …… 22
学外講師派遣等 …… 24
統計 …… 25
図書館委員会名簿 …… 29
組織図 …… 30

北海道大学附属図書館のミッション

附属図書館は、北海道大学の４つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。その実現のために、以下の目標を掲げる。

教育学習支援

豊かな情報資源と快適かつ刺激的な学習空間を提供し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

研究支援

世界水準の研究を推進するため、本学の研究者が必要とする情報資源を持続的に利用できる環境を整備する。また、本学の研究成果の保存と発信に責任を負う。

社会貢献と国際化

北海道地区における唯一の総合大学の図書館として、他図書館に対する支援を行い、地域住民の生涯学習を支援する。また、海外の大学図書館と協力関係を構築し、交流を推進する。

組織運営

学生、教職員及び研究者と連携・協働し、大学における教育研究支援機能を強化する組織づくりを目指す。図書館職員は図書館や学術情報流通に関する専門性に加え、大学を取り巻く社会の環境変化に対応できる専門性を磨く。

館長巻頭言

附属図書館年報 2022 年版の刊行に当たって

附属図書館長
山本　文彦

「附属図書館年報」は、附属図書館全体の概要紹介と活動の詳細な記録を報告するために、2014 年から刊行を始め、本号で第 9 号となります。本年報は 1 年前の活動の記録を報告するもので、本号は 2021 年度の活動を報告しています。

2021 年度を振り返ると、やはりまず新型コロナウイルス感染症への対応に明け暮れた一年でした。流行の波が繰り返されており、今後どのようになるのか現時点では判断できない状況にあります。私たちは今後もこの新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならず、附属図書館もそのような覚悟で対応を図ることが重要だと考えています。昨年度は、感染レベルに合わせて、開館時間の短縮、利用席数の削減、学外利用者の制限等の対策を講じましたが、一昨年度実施せざるを得なかった臨時休館という事態を避けることができました。図書館を利用したいという学生の皆さんの声を受けた結果でもありますが、同時に、図書館をできるだけ開館したいという図書館職員の思いでもありました。また、新型コロナウイルス感染症対応の一つとして、本館に個人学習ブースを 17 台新たに設置しました。6 台はフルクローズ型、10 台はセミクローズ型で、1 台はバリアフリー対応のセミクローズ型です。このブースを使ってオンライン授業を受けることができますが、それ以外にも個人学習スペースとして活用されています。利用状況は良好で、こうしたスペースが必要とされていることを改めて実感させられます。

2021 年度を振り返り、もう一つ考えさせられたことは、電子ジャーナルをめぐる問題です。電子ジャーナルの価格の高騰は、本学に限らず国内さらには世界各国の大学にとって非常に大きな問題であることは改めて言うまでもありません。近年の本学の対応としては、新規導入を行わず、さらに論文ダウンロード単価が高いものから順次中止することによって、何とか予算的な問題をクリアしてきました。しかしこのやり方はすでに限界に達しています。そのため昨年、「電子ジャーナル等整備検討委員会」を設置しました。この委員会は、附属図書館の館長と副館長とともに、財務担当理事、研究担当理事、URA ステーション長及び関係する事務部部長から構成されています。2021 年 11 月に第 1 回の委員会を開催した後、昨年度中に 4 回委員会を開催し、電子ジャーナル等の購読状況と今後の整備計画等について意見交換を行いました。また、この委員会とは別に、部局長等の先生方に対して FD を開催し、電子ジャーナル等の現在の状況について報告しました。この FD は、オンデマンド方式で一部の部局でも FD として活用されています。電子ジャーナルをめぐる状況について、広く学内で情報共有しながら、本学としての整備方針を定めていく必要があると考えています。

この他にも 2021 年度を振り返ると、電子ジャーナル以外にも整備が必要な図書の問題、机や椅子等も含めた設備の問題、自動化書庫等のメンテナンスの問題等、多くの問題に直面しました。予算の制約もあり、なかなか解決することは難しい状況ですが、いろいろな知恵を出し合って、一つずつ打開策を見いだしていきたいと思います。

この文章を書いている今もウクライナでは戦闘が行われ、多くの人々が傷つき命の危険に晒されています。本学では多くの学生が今この時間、図書館で勉学に勤しんでいると思います。平和が、私たちの生活にとって何よりも大切なものであることを改めて思います。しかし私たち人類は、これまでも常に暴力（武力）を用いて紛争の解決を図ろうとしてきました。しかしまた同時に、私たちは暴力（武力）を用いることなく紛争を解決する手段を探し求めてきました。

28 歳の若さでフランスのクリュニー修道院の修道院長となった尊者ピエール（1094 ～ 1156 年）という人がいます。クリュニー修道院はこの当時ヨーロッパ最大規模の修道院であり、尊者ピエールはこの当時の最高の知識人の一人でした。しかし彼が生きた時代は、十字軍の時代であり、キリスト教徒とイスラーム教徒が激しく争っていました。このような時代において、尊者ピエールは、イスラーム教徒に対して「武器によってではなく言葉によって、力によってではなく理性によって、憎しみによってではなく愛によって」理解する姿勢を示したと伝えられています。尊者ピエールが生きた時代から 1000 年ほど経った今、この言葉が改めて心に響きます。

本年報により、附属図書館が昨年度どのような活動を行ってきたのかをご理解頂くとともに、引続き皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

令和３年度 Topics

1 教育学習支援

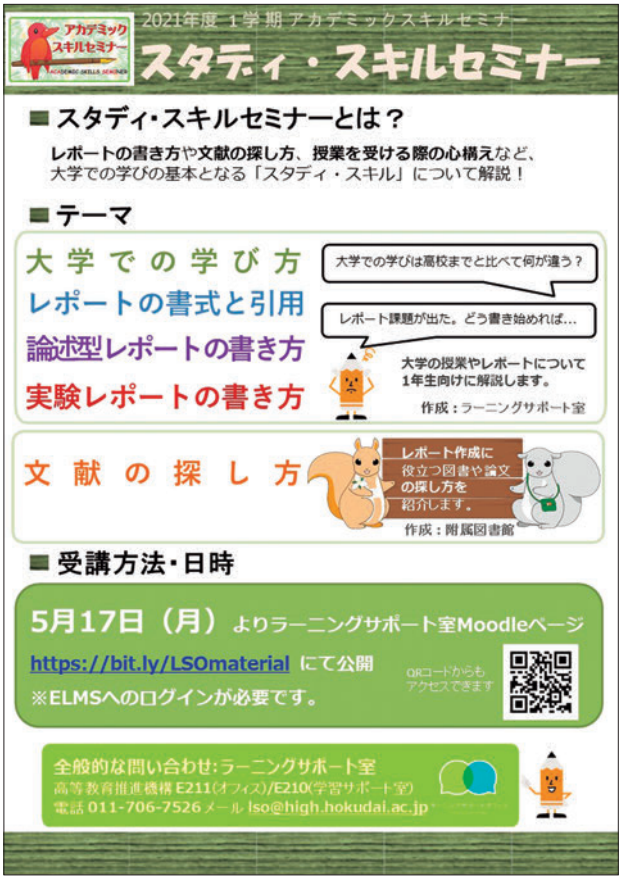
A 学習支援

（1）アカデミックスキルセミナー

本学の進路・修学の相談対応や学生の主体的な学習を支援するラーニングサポート室と協働・企画運営し、学習・研究スキルに関するセミナーの開催や事業に協力した。

スタディ・スキルセミナー

学部学生1、2年次を主な対象として、大学での学習の基本となる「スタディ・スキル」を身に付けるためのセミナーをオンラインで開催した。図書館では、全学教育科目に提供している初年次学生向けの「図書館情報入門」の内容をベースにした「文献の探し方」の教材を用意し、学生が事前申込不要で自由に教材にアクセスするオンデマンド型のセミナーを通年で実施した。



ポスター

（2）めざせ100万語！英語多読マラソン

1）全学教育科目英語授業でのエクリーの活用

今年度の英語多読マラソン新規参加者は355名、累計参加者は2,503名となった。

また、昨年度に引続きメディア・コミュニケーション研究院の浜井祐三子教授、原田真見准教授の協力により、英語多読マラソンシステム「エクリー」が、全学教育科目の英語授業で活用された。

「めざせ100万語！英語多読マラソン」案内チラシ

2）英語多読用電子ブックの拡充

昨年度に引続き、学生の自宅での英語多読学習を支援するため、英語多読用電子ブックの拡充を行い、利用可能な英語多読用電子ブックが昨年度から216冊増加し、計1,649冊となった。

（3）「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本～」展示

5月6日（木）～7月2日（金）、北図書館で新入生向けに「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本～」展示を行った。北海道大学生活協同組合（以下、「北大生協」）書籍部と連携して実施したもので、同じタイトルの本が北大生協では購入でき、北図書館では借りることができるよう、同時期に開催した。アカデミックスキル（レポート・論文の書き方、プレゼンのしかた等）、ライフスキル＆コミュニケーション、新生活応援、北海道関連の4つのテーマで、新生活のスタートを応援する図書を各会場で展開した。北大生協及び北図書館の広報ポスターやチラシ等も併せて展示し、紹介した。

展示の様子

期間中、展示した 261 冊中 237 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 802 回となった。

（4）「本は脳を育てる」特別展示

展示の様子

「本は脳を育てる」企画は、学生の知的基盤育成の支援を目的として、本学の教職員が学生（特に新入生）に読んでほしい図書を推薦文と共に Web サイトで紹介するもので、平成 17 年から実施している。

その企画で紹介された図書の展示を 12 月 21 日（火）～２月７日（月）に北図書館で開催した。「本は脳を育てる」の Web サイトで現在公開中の約 530 点の資料のうち新着を中心に、学生の思考の土台となる教養・リベラルアーツの醸成に役立つ資料 43 点を推薦文と共に展示した。展示図書のうち 33 点が延べ 74 回貸し出され、展示スペースでは推薦文を読みながら図書を選ぶ学生の姿が多数見られた。

（5）「全国読書マラソン・コメント大賞」展示

展示の様子

北大生協も加盟する全国大学生活協同組合連合会では、大学生を対象に読書の感想を募る全国読書マラソン・コメント大賞を開催している。そこで北大生協と連携し、学生が多様な図書に触れる機会を設けることを目的として、10 月７日（木）～ 11 月 15 日（月）に本館と北図書館で図書展示を行った。

歴代（平成 17 年～令和２年）の受賞作のうち図書館に所蔵があるものを、本館 35 冊、北図書館 139 冊展示し、併せて北大生協から提供された同大賞のポスターや冊子等も展示した。

本館では延べ 53 回、北図書館では延べ 219 回貸し出された。

（6）「学部選択参考図書展示」

10 月５日（火）～ 11 月 25 日（木）、初年次学生が移行先の学部を決定する際に参考となる情報を提供するため、北図書館で「学部選択参考図書展示」を行った。これはラーニングサポート室と連携して実施したもので、共同で図書の選定を行った他、ラーニングサポート室作成のアカデミックマップを掲示した。

期間中、展示した 31 冊中 28 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 59 回となった。

展示の様子

B 情報リテラシー教育

（1）図書館情報入門

「図書館情報入門」は、初年次学生を対象にレポートや論文作成に必要な学術文献の効率的な検索方法の習得を目的に実施している。全学教育科目の「一般教育演習（フレッシュマンセミナー）」及び「主題別科目（論文指導）」において、希望する教員の授業の１コマ（90 分）を利用して、オンライン教材と対面形式を教員が選択する形で実施した。

実施後のアンケートでは、「満足」と答えた学生が対面形式 89.0％、オンライン形式で 73.0％となり、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせるといずれも 99％以上となった。

（2）文献収集セミナー（法学編）

【基礎からおさえる！法情報の探し方】

法学研究科法学政治学資料センターと連携し、図書館と法学政治学資料センターで所蔵している法学関連の図書や雑誌の網羅的な探し方や法学情報収集の基礎を身につけることを目的として対面形式で開催した。夏と冬合わせて５回実施し、計 35 名が参加した。

（3）国際機関情報の探し方セミナー

国連寄託図書館・EU 情報センターとして国際情報の入手方法についてわかりやすく解説し、グローバルな課題に対する情報収集スキルを高めることを目的として開催した。11 月 17 日（水）に「国連編・EU 編・OECD 編」を対面形式で開催し、各編とも６名ずつ計 18 名が参加した。

（4）各種データベース講習会

研究や学習、就職活動等に幅広く役立ててもらうことを目的として、本学が契約する学術文献データベースや文献管理ソフトの利用講習会を専門の外部インストラクターとの協働により開催した。「EBSCOhost」「Web of Science」「日経テレコン」「Mendeley」「Zotero」等に加え、「CAS SciFinder-n」「Reaxys」「CINAHL」「DynaMed」「UpToDate」といった分野に特化したデータベース等も含め、本館、北図書館や部局での対面形式に加え、オンライン形式を合わせて計 39 回開催した。

（5）オーダーメイド講習会

教員からの依頼による「オーダーメイド講習会」は、個別の授業やゼミへの支援を目的とするオリジナル型の講習会で、教員と図書館職員とで内容を相談しながら実施している。部局図書室の独自の分野に特化した内容の講習会も増えており、文献管理ツールの使い方に重点をおくケースや書庫ガイダンスを実施する等、単なる文献の収集方法に留まらない多様な形態で、オンライン形式及び対面形式により計 22 回実施した。

C 学生と協力した図書館づくり

北海道大学ハルトプライズ×北図書館連携展示

展示の様子

国連が支援する世界最大の学生ビジネスコンテストハルトプライズは、ビジネスアイディアについて英語でプレゼンテーションを行う大会である。北図書館では学生団体「北海道大学ハルトプライズ」が開催する北海道大学ハルトプライズ学内大会と連携して、アウトプットやビジネス的思考法等、国際舞台で活躍するために役立つ資料 21 点を推薦文と共に展示した。あわせて同団体から提供された学内大会のポスターも掲示した。2 月 8 日（火）～ 2 月 20 日（日）の期間で開催し、展示図書のうち 14 点が延べ 18 回貸し出された。

D 学内ワークスタディ

ワークスタディとして学生 39 名（本館 25 名、北図書館 14 名）を雇用した。

職員の指示の下、配架作業・蔵書点検・重複調査等、業務の一部を担当させた。これにより、職員が他の業務を重点的に行うことができ、図書館の円滑な運営に寄与した。

E 障がいのある学生への支援

図書館では、障がいのある利用者に安心して利用してもらえるよう設備や貸出物品を整えている。

加えて、印刷された図書や論文を読むことが困難な学生のために図書館の資料を電子化する「プリント・ディスアビリティのある利用者のための資料電子化サービス」を本学学生相談総合センターアクセシビリティ支援室と協働して行っている。

電子化データ作成の様子

今年度は、登録利用者である学生からの依頼（94 件）に対して、電子化業務のピアサポーター（支援学生）17 名が主体となり、60 件の資料を電子化し提供した。ピアサポーターの勤務は、新型コロナウイルス感染症対応のうえで実施した。

また、全学教育科目「健康と社会」（講義題目：キャンパス・アクセシビリティ入門）において、電子化の法的な知識についての講義と文献電子化実務の実習を 2 名の職員が担当した。同時に「カラーユニバーサルデザイン」についても講義を行った。

この他、電子化が完了したデータについて国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスへの提供を開始し、126 件を提供した。これにより、プリント・ディスアビリティのある方が国立国会図書館等に申請すれば本学作成の電子化データも利用できるようになり、電子化データの共有化の一端を担った。

今後も電子化データの全国共同利用体制への参加の拡充を含め、他大学・他機関と情報交換及び情報共有をして問題解決を図り、よりよいサービスの提供を目指す。

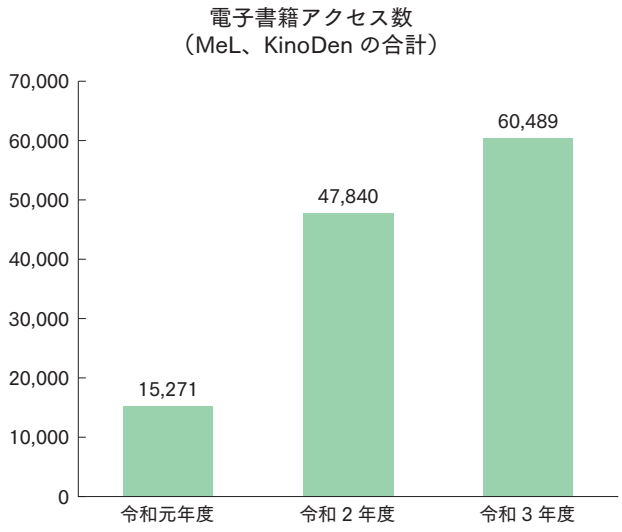
F 電子書籍の整備

図書館図書資料費の他、新型コロナ感染症対策に係る予算や HUCI（Hokkaido ユニバーサルキャンパス・イニシアチブ）事業等様々な経費により、整備を進めた。

選定に当たっては、学部（教員）からの推薦の他、従前からではあるが、学生の利用が多いと見られる Maruzen eBook Library（MeL）や KinoDen の試読サービスも活用し、学生が必要とする書籍の把握に努め、幅広い分野から購入した。

その結果、利用できる電子書籍の数は、部局経費で購入されたものも含めると、和書は約 3,400 点、洋書は約 4,700 点増加し、合わせて 56,000 点あまりとなった。（29 ページ「電子ブック提供タイトル数」参照）

電子書籍の利用（アクセス数）は、大幅に利用の伸びた令和 2 年度に引続き増加している。次のグラフは、MeL 及び KinoDen のアクセス数の推移である。（本記事におけるアクセス数には未購入の試し読みによるものも含む。）



MeL、KinoDen の令和３年度のアクセス数上位５タイトルは次の通りである。

MeL

順位	アクセス数	タイトル
1	298	妊娠後期　【動画】（目で見る母性看護）
2	212	経済史　―いまを知り、未来を生きるために―
3	210	解析入門　1（基礎数学　2）
4	209	レベル別に学べる物理　2　改訂版
5	207	憲法判例百選　I　第７版

KinoDen

順位	アクセス数	タイトル
1	159	量子力学（1）改訂版
2	122	プログラミングを、はじめよう
3	121	ベイズ統計の理論と方法
4	115	TOEIC®L & R テスト　精選模試　リスニング
5	113	量子力学 II

電子書籍の課題の一つとして、授業で使われる教科書や参考書類が少ないことが挙げられる。アクセス数上位の電子書籍はやはり授業に関係するものが多く、教科書や参考書類のより多くの電子書籍化が待たれる。また、アクセス数が増加しているとはいえ、電子書籍全体として、まだ十分に利用されているとは言い難い。リモートアクセスも含めた電子書籍利用のプロモーションも今後の課題である。

2 研究支援

A 研究者向け講習会の実施

（1）英語論文の書き方セミナー

昨年度に引続き、本学の国際化及び教育改革に対する取組みへの支援（スーパーグローバル大学創生支援事業）を受け、英語論文執筆を学ぶセミナー「基礎編」を２月28日（月）に、「応用編」を３月１日（火）にオンラインで開催した。今年度も「基礎編」に加えて「応用編」を開催し、英語論文の構成から各項目の書き方、日本人英語の欠点や改善策（脱日本的発想）にはじまり、鉄則やテクニックまで、英語論文の添削や学術論文指導等の経験豊富な講師が日本語で分かりやすく解説した。これから英語論文を執筆する大学院生を中心に文系・理系を問わず「基礎編」48名、「応用編」45名のオンライン参加があり、またそれぞれ292名、305名への録画配信を行った。

ポスター

（2）学内他部署と共同で実施したセミナー

人材育成本部 I-HoP 主催の以下２つのセミナーに協力した。いずれも、主に外国籍の大学院生を対象に、英

文校正会社の講師が英語で解説するセミナーである。

Manuscript Writing for Researchers（英語論文執筆セミナー）

毎年実施しているもので、英語論文の執筆・投稿に係るポイント等を解説するセミナーである。12月15日(水)にZoomウェビナーで実施し、他大学の学生等を含め、約100名が参加した。図書館は広報活動に協力するとともに、「英語論文執筆に役立つ図書リスト」の作成と配布を行った。

Essential Tips for Writing a Grant Application（助成金申請書作成の必須ポイント）

今年度初めて実施したもので、助成金申請書作成の必須ポイントを解説するセミナーである。3月10日（木）にZoomウェビナーで実施し、他大学の学生等を含め、90名弱が参加した。図書館は広報活動に協力した。

B 研究者向けサービス

（1）文献検索相談・代行サービス

医系グループ（医学部・保健科学研究院・歯学部・薬学部の各図書担当）で実施している「文献検索相談・代行サービス」は、本学の医系研究者を対象に、研究テーマに応じた先行研究調査を代行する人的支援サービスである。

テーマやキーワードについて研究者と打合せの上、図書館職員が検索戦略を立てて国内外の文献情報データベースを検索し、調査結果を共有する。また、データベースの利用方法、文献管理や入手方法のアドバイスにも対応する。

平成28年7月のサービス開始以来、特に診療ガイドライン（GL）やシステマティックレビュー（SR）作成のための網羅的な文献調査を必要とする研究者から依頼を受け、支援を行っている。

今年度は前年度と比べ2件多い計19件の申込みがあった。所属部局の内訳は、医学研究院4件、保健科学研究院8件、歯学研究院4件、遺伝子病制御研究所3件だった。支援内容の内訳は、教職員・大学院生からの依頼によるGL・SR等作成のための文献検索代行が12件、大学院生・学部学生からの依頼による論文執筆のための文献検索相談が7件だった。最近では初めて論文投稿を目指す学生からの相談も増加傾向にある。

令和３年度国立大学図書館協会賞を受賞

本サービスの一環として実施している「システマティックレビュー作成支援事業」が、令和3年度国立大学図書館協会賞を受賞した。国立大学図書館協会賞は、会員館に所属する者で図書館活動及び図書館・情報学研究に顕著な業績をあげた個人・グループに対し授与される賞である。本学図書館としては昭和60年度以来、36年ぶり2度目の受賞となる。

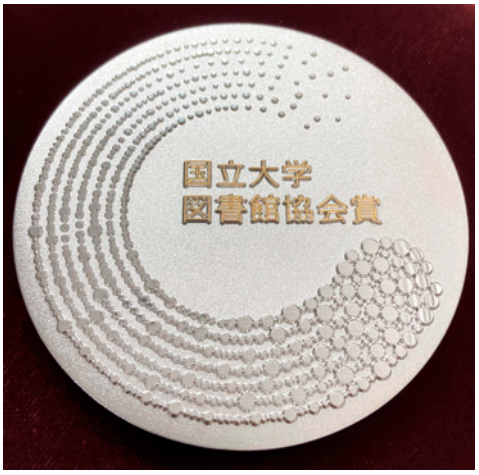
システマティックレビューとは、あるトピックに関する既存の研究成果を漏れなく収集・評価し、一定の結論を出す研究手法である。同手法の成果は学術論文、診療ガイドライン、医療政策策定等の根拠にも用いられる。

本事業では、「文献検索相談・代行サービス」へ申込みがあった研究グループに対し、図書館職員が文献検索の専門家として参加する。国内外の文献情報データベースでの調査を研究者に代わり網羅的に行うことで、質の高いシステマティックレビューの作成及び研究者の負担軽減を図っている。このように図書館職員が高度な専門性を発揮し、研究者と共同した研究支援を実践している点が、通常の図書館サービスよりも一歩進んだ取組みであり、医学系図書館が行う事業として有意義であるとして受賞に至った。

さらに、支援の過程が明確である点や、複数の図書室が連携した研究支援活動が図書館の事業として位置付けられている点が、体系的・組織的であると高い評価を受けた。その他、取組みの成果が論文・学会発表・報告資料によって可視化され、他大学の参考に資するとともに、図書館員の専門的役割に対する社会の認識の向上につながっていることも特筆に値するとのことだった。

6月25日（金）には、オンラインで開催された第68回国立大学図書館協会総会において表彰式が行われた。受賞挨拶の中で担当職員は「これまで積み重ねた経験とスキルをチームで継承していくとともに、よりサービスのレベルを上げるべく取り組んでいきたい」と今後についての抱負を述べた。授与された記念メダル及び表彰状は、医学部図書館内で展示中である。

記念メダルと表彰状を掲げる担当職員一同



記念メダル

（2）研究業績分析支援サービス

歯学部図書室では、令和４年１月から、研究業績分析支援サービスを開始した。このサービスは、研究者から依頼を受け、論文数、被引用数 Top10％論文数や国際共著論文数等の研究業績関連の指標について、どのような指標があるかを案内し、算出方法を伝えるものである。自身で算出する時間がないという方には職員が代わりに算出する。

これらの指標は、指定国立大学法人の申請要件や運営費交付金「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の指標となっており、近年、重要性を増している。歯学部図書室では、令和２年にこれらの指標に関するオンラインセミナーを開催したところ、教員等のニーズを確認でき、サービス開始のきっかけとなった。

C 学術研究コンテンツの整備

（1）令和４年度学術研究コンテンツの整備

本学では、2017 年度分選定より特定経費（全学で使用する電子ジャーナル及びデータベース（以下、「学術研究コンテンツ」）整備のために配分されている経費）の上限が設定された。その一方で、毎年の原価値上げや為替相場の影響により、学術研究コンテンツ整備にかかる経費が増大し続ける状況は変わっていない。

2022 年度特定経費による学術研究コンテンツの選定では、費用対効果が良好でない等の中止基準に該当するものについて、電子ジャーナル個別契約 31 点、データベース４点を中止した。

また、Nature 関連誌をはじめとする新規創刊タイトル等の購読ニーズに対応して欲しいとの要望に応じるため、2021 年度から設定している「新規枠」（購読費を特定経費と部局経費で分担する仕組み）により、電子ジャーナル７点を新規購読することとなった。

（2）バックファイルの整備

電子ジャーナルのバックファイルを導入することにより、研究者は、現在の研究成果だけではなく過去の研究成果にもアクセスすることが可能となる。

令和３年度は、電子ジャーナルバックファイル導入方針に基づき、Springer Nature 社の４タイトル（「Nature Plants」、「Nature Climate Change」、「Nature Ecology & Evolution」、「Nature Photonics」）、Taylor & Francis 社のジャーナルアーカイブ２分野（「芸術・人文科学」、「政治・国際関係・地域研究」）、Elsevier 社「Urban & Fisher Archive」、IoP 提供の個別タイトル「Plasma Sources Science and Technology」を買取方式で導入した（使用可能年は各タイトルにより異なる）。

また、Wiley 社の UBCM モデル（一定額を前払いすることにより、同社のバックファイル全タイトルが１年間利用可能となり、１年経過後には前払い額相当のバックファイルタイトルが買取可能となるモデル）を再導入した。

（3）電子ジャーナル等整備検討委員会の発足

電子ジャーナル・データベースについて、安定的な整

備のための基本的な考え方や財源の在り方、さらには新たな研究支援の可能性等、全学的な観点から本学に必要な方策を提言するため、電子ジャーナル等整備検討委員会を新たに立ち上げた。

同委員会は、図書館長を委員長とし、財務担当理事や研究担当理事、URA ステーション長等で構成され、令和７年度までの活動を予定している。

D 学術成果刊行助成

本学では、学術的価値が高くかつ独創的な著作物の刊行を促進し、学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成 20 年５月に「学術成果刊行助成」を創設した。助成の対象は図書及び文系欧文誌の刊行である。

図書については４件の申請があり、そのうち以下の１件を採択した。

・連合艦隊論／木村聡

また、欧文誌については、文系８部局を対象に募集を行い、以下の３誌を採択した。

・“Acta Slavica Iaponica”（スラブ・ユーラシア研究センター）
・“Journal of Applied Ethics and Philosophy”（文学研究院）
・“Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences”（文学研究院）

この事業により、令和３年度までに図書を 21 冊、欧文誌を延べ５誌刊行している。刊行した著作は本館の教員著作物コーナー及び北図書館で利用可能である。また欧文誌は電子版が利用可能である。

E 北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）

収録文献総数　70,000 編到達

「北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）」は、本学構成員の学術成果の発信に寄与するため、文献の提供依頼と登録作業を行っており、2021 年 12 月 20 日に収録文献総数が 70,000 編に達した。

収録文献総数の記録

収録文献数	到達月	10,000 編登録の所要月数
10,000 編	2006 年 11 月	
20,000 編	2007 年 10 月	11 か月
30,000 編	2009 年 12 月	２年２か月
40,000 編	2013 年　４月	３年４か月
50,000 編	2016 年　７月	３年３か月
60,000 編	2019 年　３月	２年９か月
70,000 編	2021 年 12 月	２年９か月

3 社会貢献と国際化

A 北方資料公開

（1）北方資料掲載申請

全国からの依頼によるテレビ放送や図書等への写真掲載等の許可件数は 159 件あり、資料点数としては 514 点であった。内訳は以下の通り。

・放映許可件数：20 件　資料数 60 点
・掲載許可件数：139 件　資料数：454 点

（2）北方資料データベースアクセスランキング

北方資料データベースのアクセス数上位資料は以下の通り。

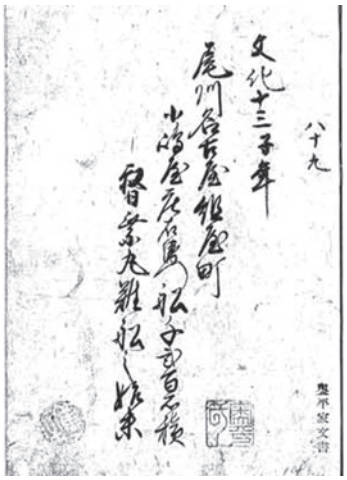
順位	資料名（請求記号）	アクセス数
1	銭函新道見取画図（図類 271）	225
2	カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）［形態変更前］（軸物　182、183）	164
3	正保度日本総図北部（図類 868）	133
4	尾州名古屋紺屋町小嶋屋庄右衛門船千二百石積督乗丸難船之始末（奥平家　116）	126
5	蝦夷国全図（軸物 48）	113

※算出条件：書誌ページを開いたユニークユーザーの数

1　銭函新道見取画図（明治初年）

2　カラフトナヨロ惣乙名文書（乾隆 40 年以降）
（パブリックドメイン）

3　正保度日本総図北部
（正保 1 年）
（昭和 16 年模写）



4　尾州名古屋紺屋町小嶋屋庄右衛門船千二百石積督乗丸難船之始末
（文化 13 年）

5　蝦夷国全図（天明 5 年）
（パブリックドメイン）

（3）北方資料企画展示

毎年、所蔵資料を一般の方にも紹介する企画展示を本館で開催してきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため学外者の入館を制限していることから、昨年度に引続き Web による資料公開を行った。

3 月 28 日（月）から「明治初期の札幌古地図」を開催した。この Web 展示では、開拓使が置かれた明治初期の札幌の古地図を紹介しており、碁盤の目状ともいわれる街並みのうつり変わりを見ることができる。また、資料の詳細や画像をオンラインで閲覧できる北方資料データベースへのリンクを整備しており、画像はすべて高精細画像公開の国際規格 IIIF（International Image Interoperability Framework）に準拠したものとなっている。

Web 展示企画 TOP 画面

資料紹介画面

B 国際連携強化

（1）国連寄託図書館、EU 情報センター

図書館は、日本で 3 番目の国連寄託図書館であり、日本で 8 番目の EU 情報センター（EUi）である。

1）EU フレンドシップウィーク関連図書展示

展示の様子

毎年、駐日欧州連合代表部広報部と国内の EU 情報センターが、ヨーロッパデー（5 月 9 日）近辺に連携して行う「日・EU フレンドシップウィーク」のイベントに参加している。今年は､5 月 7 日（金）～ 5 月 31 日（月）に、本館オープンエリアで「コロナに負けず EU をもっと知ろう！ポルトガルとスロベニア～ 2021 年の EU 議長国～」と題して、大学院公共政策学遠藤乾教授の EU 関連新聞記事ならびに関連図書の展示を行った。

また、ブクログを利用して図書の一覧も公開した。

2）北海道大学附属図書館× SDGs 関連図書展示

展示の様子

国連広報センターが推奨する SDGs 活動の一環として、11 月 1 日（月）～ 11 月 30 日（火）に本館オープ

ンエリアで、SDGs 関連図書展示（ブクログ公開含む）を行い、本学構成員に改めて認識してもらうとともに、図書の利用促進を図った。初の試みであったが、32 冊が貸し出された。

3）国連広報センターとの協力

1 月 20 日（木）に国連広報センター主催の国連寄託図書館研修会議がオンラインで開催された。講演会、国連広報センターブリーフィング、各機関の近況報告、主な図書館のオンライン訪問、図書館間オンライン交流等のプログラムが組まれ、44 機関 72 名が参加した。

（2）ソウル大学校－北海道大学ジョイントシンポジウム：ソウル大学校図書館員との情報交換会

情報交換会の様子

11 月 5 日（金）、国際連携機構が主催するソウル大学校とのジョイントシンポジウム内での職員交流の一環として、ソウル大学校図書館職員とのオンライン情報交換会を実施した。ソウル大学校図書館から 5 名、本学図書館から 4 名の職員が参加した。

情報交換会では、まず、お互いの図書館や仕事を紹介し、その後、事前に出し合っていた質問も踏まえて、質疑応答を行った。

質疑応答では、ソウル大学校図書館が導入している図書館クラウドサービスプラットフォーム「Alma」に関することから、図書館における研究支援の在り方、更には新型コロナウイルス感染症への対応について等、幅広く意見を交換することができ、大変有意義な情報交換会となった。

C 展示会・公開イベント

（1）展示企画「ポスターでわかる！本館の使い方入門」

ポスター

展示の様子

4 月 1 日（木）～ 5 月 28 日（金）、7 月 1 日（木）～ 11 月 30 日（火）、本館で「ポスターでわかる！本館の使い方入門」展示を実施した。本展示は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施していた対面式のガイダンスツアーの代わりに、ポスター展示による利

用ガイダンスとして実施されたものである。

展示ポスターは、主に新入生や新しく本学に所属する教職員を対象に、本館の基本的な使い方を理解してもらうことを目的に作成した。本館の入館方法や図書の利用方法の他、蔵書検索の仕方や図書館 Web サービス、館内の各設備を図書館公式キャラクターのイラストとともに紹介した。

また、留学生や外国人研究者向けに同内容の英語版ポスターを作成し、日本語版と併せて展示を行った。

当初４月から５月までの実施期間を予定していたが、5 月末の時点で学部１年生の７割以上が一度も本館に入館したことがなく、その後も初めて来館する学生が多いと考えられたため、７月から 11 月まで再度展示を実施した。

（2）週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」

Twitter での公開の様子

北図書館では昨年度から、週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」を開始した。学生の興味を引くテーマや話題となっているテーマ、随時募集しているリクエストによるテーマ等、多様な図書をタイムリーに紹介することで、読書意欲の向上を狙った。

展示図書は Twitter とブクログで公開している。

（3）ダイバーシティ＆インクルージョンキャンペーン図書展示（本館、北図書館）

１月 17 日（月）～３月 18 日（金）、人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室（Ree-D）との共催により、本館及び北図書館において「北海道大学がダイバーシティ＆インクルージョンをちょっと考える６か月　図書展示」を開催した。本展示企画は、11 月に発表された「北海道大学ダイバーシティ＆インクルージョン推進宣言」に伴い、Ree-D が開催した「D & I キャンペーン」の一環として企画されたものである。

展示にあたっては、「“ジェンダー・セクシュアリティ”について考える」「“ダイバーシティ＆インクルージョン”について考える」「差別やバイアス／偏見に気づく」「“生き方”を模索する」という４つのテーマを設け、学内で募集した推薦図書を合わせて、本館では 66 冊、北図書館では 132 冊の関連図書を展示した。

本館、北図書館ともに多くの展示図書が貸し出され、学内における「ダイバーシティ＆インクルージョン」についての認知向上と理解促進に貢献することができた。

本館図書展示の様子

北図書館図書展示の様子

（4）バランスドオーシャン×北図書館　連携展示

展示の様子

10 月 5 日（火）～ 11 月 25 日（木）、北図書館で、学部選択を行う 1 年生や専門分野を決めようとしている水産学部 2 年生向けに「バランスドオーシャン×北図書館連携展示」を行った。この企画は水産科学研究院バランスドオーシャン（以下「BO」）運用部と連携して実施した。水産科学関連図書の他、各図書に関する教員からのコメント、BO の Web 教材へリンクする QR コードを展示し、またミニサイネージでは BO のオンライン動画教材「LASBOS YouTube」を上映した。

期間中、展示した 31 冊のうち 21 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 41 回となった。

（5）「北海道大学フィンランドディ関連図書展示（ブクログ）」

ブクログでの紹介の様子

12 月 5 日（日）にオンラインで開催された「北海道大学フィンランドディ」に際して、ブクログで講師推薦による関連図書を紹介した。様々な分野に関するフィンランドについて多角的に捉えてもらい、フィンランドへの興味、関心を高めることを目的とした。

4 その他

A 外部資金獲得

（1）古本募金

図書館では、自己収入獲得を目的として平成 28 年から「古本募金」事業に取り組んでいる。本館と北図書館に設置した回収ステーションに古本を入れてもらう他、部局図書館・室や研究室等での回収も行っている。

古本は業者が買い取り、図書館の雑収入となる。令和３年１月から 12 月の買い取り冊数は 15,017 冊、買取額は 1,029,075 円となった。古本募金で得られた図書館収入の使途は図書館での教育支援・研究支援で、北図書館閲覧室の椅子を購入した。

（2）外部資金申請

学内の図書館外の資金として、「スーパーグローバル大学創成支援事業」に申請し、採択された。同事業により「英語論文の書き方セミナー」の基礎編及び応用編を実施した（詳細は６ページ参照）。学習用の洋書（電子ブック）も購入した。

田嶋記念大学図書館振興財団の助成金事業に「マイクロ資料保管設備整備事業」を申請し、採択された。

「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）データベース部門」に申請し、採択された。申請に当たり、調査研究室の行木孝夫室員には研究代表者をご担当いただいた。

B 調査研究室職員プロジェクト実施報告

これまで設置されていた研究開発室を調査研究室に改め、より活動を活性化するために図書館職員が調査研究室の室員として活動できる仕組みを整えた。

４月に図書館職員からプロジェクトを募集したところ、５件の応募があり、審査の結果、５件全ての実施が承認された。

各プロジェクトの活動目的等は次の通りである。

（1）電子ブックコンテンツ拡充プロジェクト

1）主な活動目的

大学で利用される学術書、専門書の電子ブック化を進めるため、図書館、書店、出版社が協働し、コンテンツの拡充を図る。

2）参加調査研究室員

前田隼室員、清重周太郎室員

3）主な活動成果

４月には他大学、５月と６月には書店とのオンライン意見交換会を開催し、電子ブックコンテンツ拡充のための知見を得ることができた。

（2）機関内流通情報のメタデータ管理手法とその利活用に関する調査研究プロジェクト

1）主な活動目的

①研究大学強化促進事業に関する事項

②SSS-HU（本学事業・活動情報共有システム）に関する調査研究事項

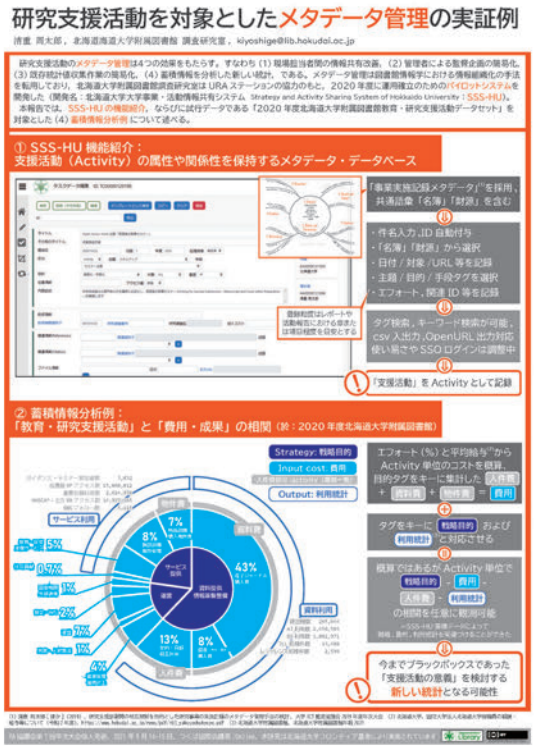
2）参加調査研究室員

清重周太郎室員、三隅健一室員、三上絢子室員、梅内紫芳室員

3）主な活動成果

大学力強化促進事業費を使用して SSS-HU の機能を拡張し、SSS-HU の運用検討及びルール策定についてマニュアルたたき台を作成した。

また、これまでの活動で得られた成果について、日本



RA 協議会第７回年次大会で発表した資料

教育情報学会第 37 回年会と RA 協議会第 7 回年次大会で発表するとともに、外部研究者からの意見を得ることができた。

（3）海外の日本学研究者、日本コレクションを知るプロジェクト

1）主な活動目的

日本学研究者や、海外大学の日本コレクション、図書館ネットワーク等について広く調査し、将来的に北方資料データベースの有効活用や他組織との協働につながる可能性のある知見を得る。

2）参加調査研究室員

児玉陽子室員、高石しのぶ室員

3）主な活動成果

最初に、海外の日本研究のネットワークを概観した。次に、オーストラリアモナッシュ大学の日本学ウェブサイトについて調査し、同大学の日本語蔵書の書誌情報に対し、書名のローマ字を付記することにより、日本語以外にローマ字でも検索できるようにしている事例を確認した。続いて京都大学、マサチューセッツ大学アマースト校、カリフォルニア大学バークレー校、スタンフォード大学の日本資料ウェブサイトを調査した。

最後に、アメリカ議会図書館の北方資料群である Ainu and Ezochi Rare Collection の利用状況を同図書館に問合せ、アメリカ国内からのアクセスと国外からのアクセスが半々の割合であることが分かった。

以上の調査を通じて、英語圏にいる利用者も多く、バックグラウンドが多様であるので、書誌情報にローマ字を付記したり、注釈を英語化したりすることには、ある程度の有効性があるとの知見を得ることができた。

（4）普通の本・製本雑誌の利用可能年限を延ばすための修理技術の共有化・共通化プロジェクト

1）主な活動目的

本や製本雑誌の修理を在宅勤務の際に行うノウハウの共有と相談を Zoom 等の双方向映像・音声通信を利用して行う。製造時にこよりがはぶかれた脆弱な明治以降の和装本の綴じなおし、ステープラの劣化した明治末期～昭和 30 年代近辺のパンフレット類、経年反復利用のため損傷した製本雑誌類、背クロスの切れ・のどの損傷等が生じた単行本等の修理を行う。

2）参加調査研究室員

嶺野智康室員、石崎睦室員、山崎佳子室員

3）主な活動成果

359 冊の修理を行うことができた。

一方で、以前から修理を担当していた参加者と今回本格的に取り組み始めた参加者との習熟度の差、在宅勤務時に修理対象本を持ち帰って行うというコンセプトから持ち帰りの難易等によって、参加者間で修理冊数にばらつきが生じたことが反省事項となった。

修理作業を記録した動画

（5）視覚障害等の学生に対する文献電子化支援におけるテキスト化が困難な事例の調査研究プロジェクト

1）主な活動目的

現在は視覚障害等の学生に対する文献電子化支援が始まり、国立国会図書館も学術文献の視覚障害者等用テキストデータの製作、収集を始めた段階である。

ただし、単に冊子画像をテキストデータに置き換えスクリーンリーダで読めるようにしただけでは、視覚障害をもった学生が文献の内容を理解できないケースがある。

そこで、これらの事例と対策について研究したい。

2）参加調査研究室員

長井伸一室員、小林泰名室員

3）主な活動成果

ジョン・E・エクスナー著『ロールシャッハ・テスト』の電子化作業を行った。ロールシャッハテストで使用される専門用語の中には、読上げソフトが誤読したり、沈黙したりする語もあり、発音を補記する等の作業を行った。

この電子化作業の経験を元に、これまで使用していた図書館の文献電子化テキストデータ作成の仕様書も修正することができた。

C 広報活動

（1）附属図書館公式 Twitter

新型コロナウイルス感染症への対応の一環で、開館状況等の迅速な告知を主な目的として開設し、２年目を迎えた。今年度も、図書館の利用方法や展示等イベントの案内､時には構内で見かけるエゾリスの写真等も合わせ、途切れることなく投稿を続けた。ツイート数はリツイートも含めて 461 件、フォロワー数は３月末時点で 1,891 名である。

図書館からの情報発信という性格上難しいところはあるが、学生の関心に沿った、親しみやすいツイートを続けていくことが今後の課題である。

URL：https://twitter.com/Hokudai_Library

附属図書館 Twitter

（2）note

職員が日々の業務内容や業務を通じて考えたこと等を紹介し、大学図書館やその業務に関心を持ってもらうことを目的として開設した。

職員８名により 13 本の記事を公開し、フォロワーも 100 名を超える結果となった。図書館の「中の人」の生の声を読むことができる貴重な場ともなり、SNS でも好意的に取り上げられた。

URL：https://note.com/hu_library

附属図書館 note

（3）附属図書館公式 Facebook

図書館公式 Twitter を開始したことや、閲覧者がターゲットとしていた学生よりも同業者や同窓生の方が多いとみられることから、図書館公式 Facebook（以下、図書館 Facebook）の在り方について広報部会で検討を進め、令和４年９月 30 日（金）で廃止することとした。

図書館 Facebook は平成 24 年 10 月に本運用を開始し、効果的な投稿のタイミングや投稿頻度の維持、見てもらいやすい投稿文の書き方等、読まれる広報媒体としてのノウハウを職員間で共有し、実践してきた。しかし､「伝えたい人に伝えたい情報が伝わっていない」媒体の典型ではないかとの指摘（令和２年度外部評価）も受ける等、かける労力と広報効果との間にギャップが生じ、開設 10 年という節目をもって、その役割を終えることとなった。

図書館 Facebook 最後の投稿

5 新型コロナウイルス感染症への対応

（1）トピックス

本館では、オンライン授業や Web 会議に使用できるパーソナルブース（個人学習ブース）を令和 3 年 3 月から 10 月にかけて計 17 台設置した。遮音・吸音機能によりブース内での発声が可能なフルクローズブースを 6 台、天井等が開放されているため遮音機能はないが、オンラインセミナー等の受講に集中しやすいセミクローズブース（内 1 台はバリアフリー対応）が 11 台である。

導入後は開館から閉館まで満室の状態となったため、より多くの学生が効率的に利用できるよう、令和 4 年 1 月からフルクローズブース及びバリアフリー対応ブースを Web 予約制とした。

北図書館では、令和 2 年度に導入したソロ型のキャレルデスク 21 台に 16 台を追加し、オープンでありながら一定の距離を確保できる個人学習スペースを整備した。こちらも午後は満席に近くなる。

北図書館ではまた、新型コロナウイルス感染症対策のため利用を停止していた語学自習室について、11 月から予約による利用の試行を開始した。

（2）対応記録

月	日	主な出来事	大学 BCP レベル	図書館（本館・北図書館） ◇縮小　●新規　◎再開
4月			2	
5月	16 日	北海道、岡山、広島に緊急事態宣言	3	
	17 日			◇利用制限（貸出・返却のみ）、座席利用の制限（席の利用は貸出できない資料の閲覧のみ）
6月	2 日			●「図書館利用者の皆様へ（ご理解とご協力のお願い）」HP 掲載
	21 日	北海道他にまん延防止等重点措置	2	
	22 日			◎座席利用再開（利用可能席数は通常より減）
7月	12 日	東京都に緊急事態宣言、北海道他のまん延防止措置解除		
8月	2 日	5 道府県にまん延防止重点措置		
	27 日	北海道他に緊急事態宣言	3	
9月	30 日	北海道他の緊急事態宣言解除		
10月	1 日		2	◎ BCP レベル 2 への引き下げにより、対面でのガイダンス等講習会再開
	22 日			●オープンエリアにフルクローズブース 6 台増設及びセミクローズブース 7 台設置（本館）
	29 日			●東棟 4 階及び東棟 3 階の閲覧席更新（北図書館）
11月	1 日		1	
	30 日	オミクロン株国内初確認（空港検疫）		
1月	24 日		2	
	27 日	北海道含む 17 道府県にまん延防止等重点措置		
3月				

（3）サービス利用状況

1　郵送貸出サービス

	受付件数	受付冊数
本館	84	207
北図書館	43	120
合計*	**100**	**327**

*1 件で本館と北図書館両方の蔵書を申し込む場合があるので個別の受付件数と合計受付件数は一致しない。

2　郵送複写サービス

	受付件数	複写件数
本館	9	30
北図書館	5	25
合計	**14**	**55**

連携事業 令和３年度

No.	時期	内容	連携・連携先	学内外	備考
1	5/6-7/2	「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本～」展示（北図書館）	北海道大学生活協同組合書籍部	学外	北大時報　No.809（令和３年８月）
2	5/7-5/31	日・EU フレンドシップウィークイベント「コロナに負けず EU をもっと知ろう！ポルトガルとスロベニア～ 2021 年の EU 議長国～」図書展示	EU 情報センター	学外	
3	5/17-3/31	スタディ・スキルセミナー（「文献の探し方」をオンデマンドで教材公開）	高等教育推進機構ラーニングサポート室	学内	
4	6/22-9/1	【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示（北図書館）	高等教育推進機構ラーニングサポート室	学内	
5	9/24-11/30	世界展開力強化事業プログラム展示（本館・北図書館）	学務部国際交流課	学内	
6	10/5-11/25	学部選択参考図書展示（北図書館）	高等教育推進機構ラーニングサポート室	学内	北大時報　No.814（令和４年１月）
7	10/5-11/25	バランスドオーシャン連携展示（北図書館）	水産科学研究院　教育プログラム企画推進室（バランスドオーシャン運用部）	学内	北大時報　No.814（令和４年１月）
8	10/7-11/15	全国読書マラソン・コメント大賞連携図書展示（本館・北図書館）	全国大学生活協同組合連合会	学外	
9	11/1-11/30	「北海道大学附属図書館 × SDGs 関連図書展示」	国連広報センター	学外	
10	11/19-12/5	北海道大学フィンランドディ関連図書紹介（ブクログでの紹介のみ）	北海道大学欧州ヘルシンキオフィス	学内	
11	12/15	Manuscript Writing for Researchers（英語論文執筆セミナー）（オンライン同時配信）	人材育成本部 I-HoP	学内	
12	1/17-3/18	「北海道大学がダイバーシティ＆インクルージョンをちょっと考える６か月」図書展示（本館・北図書館）	人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室	学内	
13	2/8-2/20	北海道大学ハルトプライズ × 北図書館連携展示（北図書館）	北海道大学ハルトプライズ運営委員会	学内	
14	2/28-3/1	「英語論文の書き方セミナー」オンライン講習会（基礎編・応用編）	国際部国際企画課	学内	北大時報　No.817（令和4年4月）
15	3/10	Essential Tips for Writing a Grant Application（助成金申請書作成の必須ポイント）（オンライン同時配信）	人材育成本部 I-HoP	学内	

ガイダンス・講習会 令和３年度

No.	時期	内容
1	4/15	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（文学研究院：佐藤健太郎教授）
2	4/15	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（法学研究科：嶋拓哉教授）
3	4/15、4/22、5/13	基礎からおさえる！法情報の探し方@北大文献収集セミナー法学編（春編）
4	4/19	オーダーメイド講習会（オンライン同時配信）（文学研究院：瀬名波栄潤教授）
5	4/21	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：児矢野マリ教授）
6	5/11	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：近藤健一郎教授）
7	5/11	オーダーメイド講習会（オンライン同時配信）（保健科学研究院：看護研究 I）
8	5/13-5/14	オーダーメイド講習会（オンライン同時配信）（医学研究院：玉腰暁子教授）
9	5/14	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：齋藤陽子講師）
10	5/17-3/31	スタディ・スキルセミナー（学部１年生）（オンデマンド）
11	5/25-5/28	CAS SciFinder-n オンライン講習会（基礎編・中級編）（オンライン同時配信）（薬学部、工学部、理学部、農学部、環境科学院、北キャンパス、水産学部） 全６回
12	6/2-6/4	Reaxys オンライン講習会（基礎コース・応用コース）（オンライン同時配信）（薬学部、工学部、理学部、水産学部）全４回
13	6/10	オーダーメイド講習会（オンライン）（メディア・コミュニケーション研究院：城山英巳教授）
14	6/15	オーダーメイド講習会（資料配布（質疑応答のみオンライン））（教育学研究院：近藤健一郎教授）
15	6/21、6/29	Mendeley オンライン講習会（日本語解説編・英語解説編）
16	6/29	オーダーメイド講習会（オンライン同時配信）（教育学研究院：近藤健一郎教授）
17	7/7	歯学研究概論（大学院１年生）（オンデマンド）（歯学部）
18	7/13	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：近藤健一郎教授）
19	7/29	JapanKnowledge（ジャパンナレッジ）講習会（オンライン）
20	10/4-11/8	E-Resource Guidance for International Students（留学生向け電子リソース講習会）（オンライン同時配信・オンデマンド）（歯学部） 全７回
21	10/14	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：田上貴祥助教）
22	10/14	オーダーメイド講習会（オンライン同時配信）（保健科学研究院：山本徹教授）
23	10/15	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：佐藤陽子教授）
24	10/21	EBSCOhostオンライン講習会
25	10/21	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：崎浜靖子講師）
26	10/21	オーダーメイド講習会（対面）（薬学部：薬物動態解析学・臨床薬剤学）
27	10/26-11/5	CAS SciFinder-n オンライン講習会（基礎編・中級編）（オンライン同時配信）（薬学部、工学部、理学部、農学部、環境科学院、北キャンパス、水産学部） 全６回
28	11/1-11/4	Reaxys オンライン講習会（基礎コース・応用コース）（オンライン同時配信）（薬学部、工学部、理学部、水産学部）全４回
29	11/4	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：石田知也助教）
30	11/11、11/18	基礎からおさえる！法情報の探し方@北大文献収集セミナー法学編（秋編）
31	11/12	Zotero 講習会（対面＋オンライン同時配信）
32	11/17	国際機関情報の探し方セミナー　国連編・EU 編・OECD 編（対面）
33	11/18	オーダーメイド講習会（対面）（メディア・コミュニケーション研究院：城山英巳教授）
34	11/19	Web of Science オンライン講習会

No.	時期	内容
35	11/26	北大構成員限定企業・業界情報調べ方セミナー　日経テレコン講習会（オンライン）
36	12/3、12/6	フロンティア基礎科目（学部 3 年生）（オンデマンド）（歯学部）
37	12/3、12/8	Mendeley オンライン講習会（基礎編・応用編）
38	12/15	Manuscript Writing for Researchers（英語論文執筆セミナー）（オンライン同時配信）
39	12/23	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：大谷和大講師）
40	1/19	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：実山豊講師）
41	2/7-17	医系向けオンライン講習会（オンライン同時配信）（医学部、保健科学研究院、薬学部、歯学部）　全 5 回
42	2/28、3/1	英語論文の書き方セミナー（オンライン）（基礎編・応用編）
43	3/10	Essential Tips for Writing a Grant Application（助成金申請書作成の必須ポイント）（オンライン同時配信）
44	通年	図書館情報入門（学部 1 年生）（オンデマンドと対面のいずれかを教員が選択）
45	通年	図書館 30 分セミナー（書庫利用ガイダンス編）　全 18 回
46	通年	図書館 30 分セミナー（これから始める論文収集編）　全 7 回
47	通年	30 分講習会（対面＋オンライン同時配信）（医系グループ）　全 15 回

活動日誌 令和３年度

時期		内容
2月	2/26 － 6/4	「就活応援！就活・お仕事関連図書展示」（北図書館）
3月	3/23 － 4/30	「貸出ランキング Best20」図書展示（北図書館）
4月	4/28	第 53 回国立大学図書館協会北海道地区協会総会（Web）（館長、副館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
5月	5/14	国立大学図書館協会令和２年度春季理事会（Web）（館長、副館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
	5/6－7/2	「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本～」展示（北図書館）
	5/26	令和３年度文系部局長等懇談会（オンライン）（館長）
	5/28	第 63 回北海道地区大学図書館職員研究集会第３回企画委員会（Web）（利用支援課課長補佐）
6月	6/4	第 14 回 JPCOAR 運営委員会（Web）（研究支援課長）
	6/10	北海道地区大学図書館協議会令和２年度第２回幹事館会議（Web）（利用支援課長、利用支援課課長補佐）
	6/16	令和３年度第３回部局長等連絡会議（意見交換「オープンアクセスと電子ジャーナル契約について」）（説明：管理課長）
	6/22 － 9/1	【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示（北図書館）
	6/25	第 68 回国立大学図書館協会総会（Web）（館長、副館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
	6/28	第１回学術研究コンテンツ小委員会（Web）
7月	7/1	令和３年度第１回北海道図書館連絡会議兼第 61 回北海道図書館大会運営員会（第３回）（Web）（利用支援課長）
	7/6 － 7/9	第２回学術研究コンテンツ小委員会（メール審議）
	7/12 － 7/16	北海道地区大学図書館協議会令和２年度第３回幹事館会議（メール審議）（利用支援課長、利用支援課課長補佐）
	7/20	第 247 回図書館委員会（令和３年度第１回）（Web）
	7/20 － 9/2	「Summer Vacation　～夏休みに読みたい本、集めました～」図書展示（北図書館）
	7/27	令和３年度第１回国立大学図書館協会システム委員会（Web）（管理課長）
8月	8/3 － 8/17	令和３年度国立大学図書館協会システム委員会（メール審議）（管理課長）
	8/10 － 8/23	第１回図書選定小委員会（メール審議）
	8/20 － 9/17	第 63 回北海道地区大学図書館職員研究集会（オンデマンド配信）
	8/26	JPCOAR RDM 事例形成プロジェクトミーティング（Web）（研究支援課長、研究支援課課長補佐）
	8/27	第 71 回北海道地区大学図書館協議会総会（Web）（館長、事務部長、利用支援課長、利用支援課課長補佐）
9月	9/17	北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー（Web）
	9/24 － 11/30	世界展開力強化事業プログラム展示（本館・北図書館）
	9/27	2021 年度第１回学術情報流通推進委員会（Web）（事務部長）
	9/27	令和３年度第２回国立大学図書館協会システム委員会（Web）（管理課長）
	9/28	令和３年度第２回北海道図書館連絡会議兼第 62 回北海道図書館大会運営員会（第１回）（Web）（利用支援課長）
10月	10/5 － 11/25	学部選択参考図書展示（北図書館）
	10/5 － 11/25	バランスドオーシャン連携展示（北図書館）
	10/7 － 11/15	全国読書マラソン・コメント大賞連携図書展示（本館・北図書館）
	10/12 － 10/19	第３回学術研究コンテンツ小委員会（メール審議）
	10/14	第１回学術成果刊行助成審査委員会（Web）
	10/20	令和３年度第６回部局長等連絡会議（報告「電子ジャーナル等整備検討委員会の設置について」）（説明：館長）
	10/22	本館防災訓練
	10/27 － 12/20	2021 年度学術情報流通推進委員会（メール審議）（事務部長）
11月	11/5	ソウル大学校図書館職員とのオンライン情報交換会
	11/12	国立大学図書館協会令和３年度秋季理事会（Web）（館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
	11/12 － 11/19	第２回図書選定小委員会（メール審議）
	11/15	第 15 回 JPCOAR 運営委員会（Web）（研究支援課長）
	11/19 － 12/5	北海道大学フィンランドディ関連図書紹介
	11/25	第１回電子ジャーナル等整備検討委員会（Web）
	11/26	第 95 次国立七大学附属図書館協議会（Web）（館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
	11/26、12/3	総長、理事、監事、本館視察（パーソナルブース、自動化書庫等）

時期		内容
12月	12/1	附属図書館公式 Facebook 運用終了をお知らせ
	12/3	国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課長室長会議（Web）（事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
	12/7	第 248 回図書館委員会（令和 3 年度第 2 回）（Web）
	12/15	第 2 回学術成果刊行助成審査委員会（Web）
	12/15	令和 3 年度第 3 回北海道図書館連絡会議兼第 62 回北海道図書館大会運営員会（第 2 回）（Web）（利用支援課長）
	12/21 － 2/7	企画展示「本は脳を育てる」（北図書館）
	12/22	第 2 回電子ジャーナル等整備検討委員会（Web）
	12/22	第 63 回北海道地区大学図書館職員研究集会第 4 回企画委員会（利用支援課課長補佐）
	12/23	第 3 回学術成果刊行助成審査委員会（Web）
1月	1/7	北海道地区大学図書館協議会令和 3 年度第 1 回幹事館会議（Web）（利用支援課長、利用支援課課長補佐）
	1/17 － 3/18	「北海道大学がダイバーシティ＆インクルージョンをちょっと考える 6 か月」図書展示（本館・北図書館）
	1/30	研究業績分析支援サービス開始（歯学部）
2月	2/2	JPCOAR RDM 事例形成プロジェクトミーティング（Web）（研究支援課長、研究支援課課長補佐）
	2/2	第 3 回電子ジャーナル等整備検討委員会（Web）
	2/7 － 3/28	「就活応援！就活・お仕事関連図書展示」（北図書館）
	2/8 － 2/20	北海道大学ハルトプライズ×北図書館連携展示（北図書館）
	2/10	国立大学図書館協会地区協会助成事業「魅せるオンライン教材！　デジタル時代のリテラシー教育」（Web）
	2/10 － 2/21	第 1 回自己点検評価小委員会及び第 249 回図書館委員会（令和 3 年度第 3 回）（メール審議）
	2/18	国文学研究資料館古典籍共同研究事業研究センター令和 3 年度第 1 回運営委員会（Web）（利用支援課課長補佐）
	2/22	SPARC Japan　セミナー　2021「研究データポリシーが目指すものとは」（Web）
	2/24	第 4 回学術研究コンテンツ小委員会（Web）
3月	3/4	2021 年度大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）総会（Web）（事務部長）
	3/8	令和 3 年度第 4 回北海道図書館連絡会議兼第 62 回北海道図書館大会運営員会（第 3 回）（Web）（利用支援課長）
	3/10	2021 年度第 2 回学術情報流通推進委員会（Web）（事務部長）
	3/14 － 3/18	2021 年度学術情報流通推進委員会（メール審議）（事務部長）
	3/16	2021 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）総会（Web）
	3/18 － 3/25	第 3 回図書選定小委員会（メール審議）
	3/18	第 2 回自己点検評価小委員会及び第 250 回図書館委員会（令和 3 年度第 4 回）（Web）
	3/18	第 64 回北海道地区大学図書館職員研究集会第 1 回企画委員会（Web）（利用支援課課長補佐）
	3/23	第 4 回電子ジャーナル等整備検討委員会（Web）
	3/23－3/24	2021 年度学術情報流通推進委員会（メール審議）（事務部長）
	3/28－	北方資料電子展示「明治初期の札幌古地図」

学外講師派遣等 令和３年度

No.	時期	報告者	内容	発表先・媒体	連携・連携先	学内外	種別（寄稿、発表、講師、論文等）
1	6 月	中村陽	ハゲタカジャーナルデータベース：Predatory Reports（Cabells 社）の導入事例	医学図書館 68（2）：101-103、2021		学外	寄稿
2	6/25	佐藤初美	国立大学図書館協会ビジョン 2020 から 2025 へ―振り返りと展望―	第 68 回国立大学図書館協会総会研究集会		学外	講師
3	7/6	前田隼	次世代学術研究プラットフォーム	国立情報学研究所学術情報基盤オープンフォーラム 2021		学外	講師
4	7/8	前田隼	次世代学術機関リポジトリ	国立情報学研究所学術情報基盤オープンフォーラム 2021		学外	講師
5	8/29	清重周太郎	学術機関における業務情報流通の最適化モデルに関する検討：北海道大学附属図書館における実証を通じて	日本教育情報学会第 37 回年会		学外	発表
6	9/14	清重周太郎	研究支援活動を対象としたメタデータ管理の実証例	RA 協議会第 7 回年次大会		学外	ポスター発表
7	11/9	前田隼	機関リポジトリからみた管理・検索基盤	図書館総合展 NII フォーラム		学外	講師
8	11/9	山形知実	学術情報を見つける、集める、使ってみる	図書館総合展 NII フォーラム		学外	講師
9	12/5	千葉浩之	フィンランドの美しい冬景色を想って	第 5 回北海道大学フィンランドディ		学内	講師
10	1/13	川村路代	大学図書館と Wikipedia の連携がもたらすものは？〈文献紹介〉	カレントアウェアネス -E（428）：E2465、2022		学外	寄稿
11	2 月	山形知実	研究データポリシーが目指すものとは	2021 年度 SPARC Japan セミナー		学外	講師
12	3 月	児玉陽子	北海道大学歯学部図書室による Zoom を用いた留学生向け電子リソース講習会の取り組み	医学図書館 69（1）：26-29、2022		学外	論文
13	3 月	平館真希子	はじめての医学系図書館員	医学図書館 69（1）：15-16、2022		学外	寄稿

統　計

基盤統計

令和３年度雑誌所蔵・受入種類統計（対象期間：R3.4.1 ～ R4.3.31）

区分	所蔵種類数（令和４年３月31日現在）			受入種類数（令和３年度）								
				購入			寄贈			合計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	21,867	14,170	**36,037**	156	30	**186**	384	22	**406**	540	52	**592**
附属図書館（北図書館）	928	611	**1,539**	126	5	**131**	19	1	**20**	145	6	**151**
文学研究院・文学部	2,571	985	**3,556**	227	159	**386**	453	22	**475**	680	181	**861**
法学研究科・法学部	651	298	**949**	130	165	**295**	285	20	**305**	415	185	**600**
経済学院・経済学部	1,011	257	**1,268**	126	19	**145**	279	21	**300**	405	40	**445**
医学研究院・医学院・医学部	3,259	2,482	**5,741**	175	26	**201**	139	4	**143**	314	30	**344**
歯学研究院・歯学院・歯学部	577	504	**1,081**	32	9	**41**	114	13	**127**	146	22	**168**
工学研究院	2,592	2,702	**5,294**	99	20	**119**	108	11	**119**	207	31	**238**
獣医学研究院	507	837	**1,344**	20	21	**41**	27	10	**37**	47	31	**78**
情報科学研究院	389	455	**844**	53	4	**57**	9	0	**9**	62	4	**66**
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	3,237	2,227	**5,464**	64	14	**78**	163	20	**183**	227	34	**261**
地球環境科学研究院	267	328	**595**	24	3	**27**	16	1	**17**	40	4	**44**
理学研究院・理学院・理学部	752	3,499	**4,251**	44	54	**98**	25	101	**126**	69	155	**224**
薬学研究院・薬学部	164	131	**295**	8	0	**8**	23	0	**23**	31	0	**31**
農学研究院	5,294	3,511	**8,805**	169	31	**200**	225	57	**282**	394	88	**482**
先端生命科学研究院	12	14	**26**	7	1	**8**	0	0	**0**	7	1	**8**
教育学院・教育学研究院	752	134	**886**	109	13	**122**	100	2	**102**	209	15	**224**
メディア・コミュニケーション研究院	165	163	**328**	55	22	**77**	6	0	**6**	61	22	**83**
保健科学研究院	805	133	**938**	37	1	**38**	29	1	**30**	66	2	**68**
公共政策大学院	2	0	**2**	5	0	**5**	0	0	**0**	5	0	**5**
低温科学研究所	833	947	**1,780**	14	1	**15**	50	10	**60**	64	11	**75**
電子科学研究所	18	6	**24**	11	1	**12**	0	0	**0**	11	1	**12**
遺伝子病制御研究所	5	21	**26**	3	0	**3**	1	0	**1**	4	0	**4**
触媒科学研究所	86	379	**465**	10	4	**14**	12	2	**14**	22	6	**28**
スラブ・ユーラシア研究センター	195	1,639	**1,834**	18	159	**177**	41	22	**63**	59	181	**240**
情報基盤センター	50	6	**56**	1	0	**1**	0	0	**0**	1	0	**1**
国際連携機構	2	1	**3**	5	0	**5**	1	0	**1**	6	0	**6**
高等教育推進機構	88	71	**159**	13	7	**20**	3	2	**5**	16	9	**25**
総合博物館	834	418	**1,252**	1	0	**1**	2	1	**3**	3	1	**4**
北方生物圏フィールド科学センター	14	66	**80**	21	4	**25**	1	0	**1**	22	4	**26**
大学文書館	291	7	**298**	66	5	**71**	38	1	**39**	104	6	**110**
アイヌ・先住民研究センター	116	12	**128**	3	2	**5**	4	0	**4**	7	2	**9**
人間知・脳・AI研究教育センター	0	1	**1**	0	2	**2**	0	0	**0**	0	2	**2**
創成研究機構	5	0	**5**	1	0	**1**	2	0	**2**	3	0	**3**
計	**48,339**	**37,015**	**85,354**	**1,833**	**782**	**2,615**	**2,559**	**344**	**2,903**	**4,392**	**1,126**	**5,518**

令和３年度蔵書・受入統計（対象期間：R3.4.1 ～ R4.3.31）

区分	所蔵冊数（令和４年３月31日現在）			受入冊数（令和３年度）											
				購入			寄贈			製本			総計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	1,014,938	865,113	**1,880,051**	3,938	345	**4,283**	1,341	465	**1,806**	257	19	**276**	5,536	829	**6,365**
附属図書館（北図書館）	266,170	119,931	**386,101**	3,838	142	**3,980**	427	140	**567**	26	0	**26**	4,291	282	**4,573**
文学研究院・文学部	130,284	79,050	**209,334**	927	346	**1,273**	2,377	677	**3,054**	134	142	**276**	3,438	1,165	**4,603**
法学研究科・法学部	7,861	1,725	**9,586**	252	258	**510**	298	295	**593**	292	234	**526**	842	787	**1,629**
経済学院・経済学部	6,560	2,789	**9,349**	101	30	**131**	378	19	**397**	197	54	**251**	676	103	**779**
医学研究院・医学院・医学部	52,800	93,476	**146,276**	413	86	**499**	52	11	**63**	134	4	**138**	599	101	**700**
歯学研究院・歯学院・歯学部	23,255	16,374	**39,629**	157	20	**177**	19	5	**24**	40	7	**47**	216	32	**248**
工学研究院	103,071	100,470	**203,541**	798	123	**921**	259	55	**314**	247	20	**267**	1,304	198	**1,502**
獣医学研究院	8,875	23,328	**32,203**	63	5	**68**	31	17	**48**	4	16	**20**	98	38	**136**
情報科学研究院	13,288	16,989	**30,277**	102	1	**103**	16	6	**22**	0	0	**0**	118	7	**125**
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	73,188	54,647	**127,835**	373	31	**404**	43	8	**51**	32	23	**55**	448	62	**510**
地球環境科学研究院	10,225	9,164	**19,389**	144	50	**194**	43	8	**51**	11	0	**11**	198	58	**256**
理学研究院・理学院・理学部	46,260	173,123	**219,383**	426	71	**497**	74	82	**156**	20	16	**36**	520	169	**689**
薬学研究院・薬学部	7,933	3,614	**11,547**	71	1	**72**	28	1	**29**	11	0	**11**	110	2	**112**
農学研究院	129,310	97,565	**226,875**	273	36	**309**	132	72	**204**	66	55	**121**	471	163	**634**
先端生命科学研究院	319	263	**582**	16	0	**16**	0	0	**0**	0	0	**0**	16	0	**16**
教育学院・教育学研究院	16,634	3,725	**20,359**	226	80	**306**	455	47	**502**	58	50	**108**	739	177	**916**
メディア・コミュニケーション研究院	2,676	3,491	**6,167**	16	12	**28**	52	164	**216**	0	0	**0**	68	176	**244**
保健科学研究院	29,414	4,044	**33,458**	269	5	**274**	38	1	**39**	46	2	**48**	353	8	**361**
公共政策大学院	1	0	**1**	200	1	**201**	131	115	**246**	0	0	**0**	331	116	**447**
低温科学研究所	10,508	24,350	**34,858**	15	0	**15**	115	44	**159**	25	6	**31**	155	50	**205**
電子科学研究所	603	516	**1,119**	0	0	**0**	51	38	**89**	0	0	**0**	51	38	**89**
遺伝子病制御研究所	68	43	**111**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
触媒科学研究所	4,867	16,794	**21,661**	0	1	**1**	2	10	**12**	0	0	**0**	2	11	**13**
スラブ・ユーラシア研究センター	2,748	72,935	**75,683**	240	3,078	**3,318**	115	2,716	**2,831**	57	414	**471**	412	6,208	**6,620**
情報基盤センター	88	1	**89**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
国際連携機構	1	0	**1**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
高等教育推進機構	3,444	734	**4,178**	0	0	**0**	1	0	**1**	0	0	**0**	1	0	**1**
総合博物館	10,529	3,560	**14,089**	3	1	**4**	154	16	**170**	0	0	**0**	157	17	**174**
北方生物圏フィールド科学センター	6,264	1,807	**8,071**	4	1	**5**	3	0	**3**	0	0	**0**	7	1	**8**
大学文書館	3,543	70	**3,613**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
事務局	0	0	**0**	6	25	**31**	0	0	**0**	0	0	**0**	6	25	**31**
アイヌ・先住民研究センター	4,431	643	**5,074**	32	18	**50**	50	1	**51**	0	0	**0**	82	19	**101**
人間知・脳・AI研究教育センター	0	10	**10**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
創成研究機構	19	3	**22**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
計	**1,990,175**	**1,790,347**	**3,780,522**	**12,903**	**4,767**	**17,670**	**6,685**	**5,013**	**11,698**	**1,657**	**1,062**	**2,719**	**21,245**	**10,842**	**32,087**

※「所蔵冊数」は、当該部局に配架されている図書等の冊数。
※「受入冊数」は、当該部局予算による購入・製本、及び当該部局において寄贈受入した図書等の冊数で、別部局に配架した図書等を含む。なお、移動（部局をまたぐ所在変更）に伴う増減、除却に伴う減少は含まない。

電子ジャーナル提供タイトル数

出版社系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
ScienceDirect（Elsevier）	0	2,256	2,256
IEEE/IET Electronic Library	0	375	375
Oxford Journal Collection	0	363	363
Wiley Online Library	0	1,443	1,443
その他	30	1,898	1,928
小計	**30**	**6,335**	**6,365**
アグリゲータ系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
EBSCO Academic Search Premier	0	4,676	4,676
JSTOR	0	168	168
ProQuest	0	6,800	6,800
メディカルオンライン	1,511	0	1,511
その他	0	217	217
小計	**1,511**	**11,861**	**13,372**
合計	**1,541**	**18,196**	**19,737**

電子ブック提供タイトル数

プロバイダ	タイトル数		計
	和	洋	
ACM Digital Library	0	11,227	11,227
EBSCOhost	289	1,999	2,288
Elsevier	1	1,196	1,197
Kinokuniya Company Ltd.（KinoDen）	1,485	1	1,486
Meteo, Inc.（メディカルオンライン）	609	0	609
NetAdvance（ジャパンナレッジ）	1,277	2	1,279
ProQuest Ebooks	0	769	769
Springer Nature	4	27,944	27,948
Wiley	0	1,196	1,196
丸善雄松堂株式会社（Maruzen eBook Library）	5,964	1,306	7,270
その他	175	708	883
合計	**9,804**	**46,348**	**56,152**

契約データベース一覧

ABSEES (American Bibliography of Slavic and East European Studies)
ASFA (Aquatic Science and Fisheries Abstracts)
Biological Science Database
CINAHL
CNKI：中国学術文献オンラインサービス
EconLit
Lexis（旧 Lexis Advance）
MarinLit
MathSciNet
Oxford English Dictionary
ProQuest Dissertations & Theses A&I
Reaxys
CAS SciFinder-n
Sociological Abstracts
TAIR (The Arabidopsis Information Resource)
Ulrichsweb (Ulrich's Periodicals Directory)
Web of Science with InCites Journal and Highly Cited Data
医中誌 Web
ジャパンナレッジ Lib
日経 BP 記事検索サービス
日経テレコン21
法科大学院教育研究支援システム(LEX/DBインターネット)
法情報総合データベースサービス(第一法規)

（R4.3.31 現在）

利用統計

令和 3 年度利用統計（対象期間：R3.4.1 ～ R4.3.31）

区分	入館者数			貸出統計			相互協力				学内 ILL		レファレンス件数
	学内	学外	計	学生	その他	計	複写依頼	複写受付	貸借依頼	貸借受付	依頼	受付	
附属図書館（本館）	153,065	0	**153,065**	98,487	24,787	**123,274**	1,492	3,295	805	1,204	54	135	332
附属図書館（北図書館）	227,243	0	**227,243**	124,310	12,855	**137,165**	101	43	61	57	47	3	490
文学研究院・文学部図書室	1,872	2	**1,874**	679	105	**784**	777	181	347	10	70	12	486
経済学院・経済学部図書室	4,694	–	**4,694**	197	70	**267**	–	–	–	–	–	–	–
医学研究院・医学院・医学部図書室	24,140	0	**24,140**	9,364	1,249	**10,613**	733	840	7	10	16	70	162
歯学研究院・歯学院・歯学部図書室	24,007	0	**24,007**	1,271	2,803	**4,074**	30	76	0	19	14	4	401
工学研究院図書室	26,198	0	**26,198**	11,474	3,882	**15,356**	92	274	30	31	27	29	46
獣医学研究院図書室	–	1	**1**	1,105	545	**1,650**	45	58	0	9	11	4	–
水産科学研究院・水産科学院・水産学部図書室	18,837	13	**18,850**	4,301	432	**4,733**	28	304	171	75	10	68	410
地球環境科学研究院図書室	1,422	5	**1,427**	629	183	**812**	36	22	3	4	28	4	48
理学研究院・理学院・理学部図書室	7,228	–	**7,228**	5,111	1,634	**6,745**	97	292	14	22	53	29	57
薬学研究院・薬学部図書室	22,385	0	**22,385**	1,987	52	**2,039**	5	34	0	0	4	5	–
農学研究院図書室	17,891	–	**17,891**	5,693	643	**6,336**	807	246	25	36	28	34	150
教育学院・教育学研究院図書室	2,404	–	**2,404**	820	177	**997**	–	–	–	–	–	–	6
保健科学研究院図書室	10,040	3	**10,043**	1,552	322	**1,874**	327	254	4	7	36	19	254
低温科学研究所図書室	653	0	**653**	33	25	**58**	2	31	2	0	9	3	31
北キャンパス図書室	627	0	**627**	79	34	**113**	19	29	8	0	17	5	15
計	**542,706**	**24**	**542,730**	**267,092**	**49,798**	**316,890**	**4,591**	**5,979**	**1,477**	**1,484**	**424**	**424**	**2,888**

経済学部・教育学部は相互協力を附属図書館が担当

主要な電子ジャーナルのアクセス件数（対象期間：R3.1.1 ～ R3.12.31）

出版社系パッケージ	件数
ScienceDirect（Elsevier）	850,831
Wiley Online Library	389,538
Oxford Journal Collection	57,460
IEEE/IET Electronic Library	47,609
その他	1,118,920
小計	**2,464,358**
アグリゲータ系パッケージ	**件数**
メディカルオンライン	83,336
ProQuest	25,885
JSTOR	13,396
EBSCO Academic Search Premier	5,893
その他	6,439
小計	**134,949**
合計	**2,599,307**

図書館 HP 等の利用

区分	学内	学外	計
図書館 HP のアクセス数	3,285,844	10,859,816	**14,145,660**
OPAC の検索回数	597,146	1,708,655	**2,305,801**
HUSCAP ダウンロード件数	58,108	7,876,891	**7,934,999**
北方資料データベースアクセス件数	144,727	7,507,142	**7,651,869**
Twitter フォロワー数			**1,891**
Facebook 総いいね数			**2,929**

（R4.3.31 現在）

主要なデータベースのアクセス件数（上位 15 データベース）（対象期間：R3.4.1 ～ R4.3.31）

データベース名	件数
Web of Science with InCites Journal and Highly Cited Data	313,910
CAS SciFinder-n	176,182
医中誌 Web	160,768
日経テレコン 21	158,110
ジャパンナレッジ Lib	121,692
MathSciNet	51,721
Reaxys	30,194
日経 BP 記事検索サービス	25,733
CNKI：中国学術文献オンラインサービス	22,709
TAIR（The Arabidopsis Information Resource）	15,904
Lexis（旧　Lexis Advance）	7,916
法科大学院教育研究支援システム(LEX/DB インターネット)	5,595
MarinLit	5,112
Ulrichsweb（Ulrich's Periodicals Directory）	3,352
Oxford English Dictionary	3,075
合計	**1,101,973**

図書館委員会名簿

令和４年度図書館委員会委員名簿

令和４年４月１日現在

所　属	職　名	氏　名
理事・副学長	館　長	山　本　文　彦
大学院獣医学研究院	副館長	稲　葉　　睦
大学院法学研究科	教　授	會　澤　　恒
大学院水産科学研究院	教　授	澤　辺　智　雄
大学院地球環境科学研究院	准教授	藤　原　正　智
大学院理学研究院	准教授	清　水　洋　平
大学院薬学研究院	准教授	多　留　偉　功
大学院農学研究院	教　授	尾之内　　均
大学院先端生命科学研究院	教　授	相　沢　智　康
大学院教育学研究院	教　授	近　藤　健一郎
大学院メディア・コミュニケーション研究院	准教授	山　田　悦　子
大学院保健科学研究院	准教授	長谷川　直　哉
大学院工学研究院	准教授	松　井　良　太
大学院経済学研究院	教　授	岩　田　　智
大学院医学研究院	教　授	大　場　雄　介
大学院歯学研究院	准教授	吉　村　善　隆
大学院獣医学研究院	准教授	今　内　　覚
大学院文学研究院	教　授	金　沢　英　之
大学院情報科学研究院	教　授	工　藤　峰　一
大学院公共政策学連携研究部	准教授	村　上　裕　一
北海道大学病院	教　授	坂　本　直　哉
低温科学研究所	教　授	田　中　亮　一
電子科学研究所	准教授	髙　野　勇　太
遺伝子病制御研究所	准教授	紙　谷　尚　子
触媒科学研究所	准教授	飯　田　健　二
人獣共通感染症国際共同研究所	准教授	大　場　靖　子
スラブ・ユーラシア研究センター	教　授	田　畑　伸一郎
高等教育推進機構	准教授	岩　間　徳　兼
附属図書館事務部	部　長	鈴　木　秀　樹
附属図書館管理課	課　長	樋　口　秀　樹
附属図書館利用支援課	課　長	米　谷　昌　代
附属図書館研究支援課	課　長	鵜　澤　和　往

組織図（令和４年４月１日現在）

※（ ）内は非正規職員で外数

職名	事務部長	課長	課長補佐	係長	係員等	合計
計	1 人	3 人	4 人	26 人	56（21）人	90（21）人

※（ ）内は非正規職員で外数

北海道大学附属図書館年報 2022

発行　令和４年７月
編集　北海道大学附属図書館
〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目
TEL：011-706-2967　FAX：011-747-2855
Homepage：https://www.lib.hokudai.ac.jp
Ｔｗｉｔｔｅｒ：https://twitter.com/Hokudai_Library

Homepage

Twitter